

「省エネ市民会議」					
会議年月日	27年11月6日	時間	13:30 ~ 16:00	場所	流山市生涯学習センター(3F)
出席者	高橋、新美、山田、梅田、新田、平手、春田(記)、青木、豊田、平手(正子)、難波、笠原、野々口 遠藤、三須、三原、服部、吉田、佐藤、山本、米沢、三木、大前、山本、菅原、海老原、伊香賀				
議 題					
第100回「省エネ市民会議」を開催した。					
1, 講演: 快適に暮らせる省エネルギー効率の良い住環境					
2, 講師: 伊香賀教授(慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学)					
3, 資料: 当会HPに掲載しております。下記URLで見れます。					
<a href="http://www.na-shimin.org/w2/obn/conference/h27/H271106document.pdf">http://www.na-shimin.org/w2/obn/conference/h27/H271106document.pdf</a>					
4, 主な内容;					
慶應義塾大学医学部との共同研究を進める屋内気温と疾病の関係などを中心にお話いただきました。					
①増え続ける医療・介護費用とその原因 ②家庭内事故 ③北海道で冬の死亡リスクがなぜ低い					
④温度差減らし病気のリスク軽減 ⑤スマートウエルネス住宅 ⑥内装木質化によるメリット					
5, 主な質疑応答					
Q1: 床仕上げ材に木質材を使うと健康に良いとのことであるが?					
A1: 断熱施工をした場合であり、内装を木質化することで睡眠の質向上や疲労回復間が減少効果がある。 NICEスマートウエルネス体感パビリオンがあるので体験されたらどうか。					
Q2: マンションの断熱化は?					
A2: 窓の対策が重要で、内窓が有効。窓ガラスは共有部分となっている場合があるので取替には注意を。					
Q3: 部屋が寒い場合は着込むことが優先と思う。住宅の断熱との相違は?					
A3: 足元対策が重要で足元が1℃低下で血圧が1mm上昇する。早朝室温変化、脱衣所の床温も重要。					
Q4: 省エネ住宅の義務化は?					
A4: 2020年から義務化されるが、現状は大型住宅や大規模建売住宅を除いて強制力はない。					
Q5: 魔法瓶のような家では逆に熱中症などのリスクが高まるのではないか?					
A5: 熱中症による死亡者は数千人に対し、冬の循環器系疾患、浴室死亡者は60万人と桁が違う。 まずは断熱で冬のリスクを低減し、夏はグリーンカーテンなどで通風を活かした生活が望ましい。					
Q6: 新築住宅の高断熱化は容易であるが、既存住宅の高断熱リフォームはハードルが高いのでは?					
A6: 高断熱住宅の省エネ+健康便益(16P)で説明。光熱費100万円を回収するのに29年掛かる。					
Q7: 断熱材は?					
A7: 真空断熱材が有効であるが使用する場所や施工方法で断熱材が選定される。気密性も重要。					
<次回予定>					
日時=12月4日(金)13:30~15:30 場所=流山市生涯学習センター(3F)大会議室					
テーマ=未定(ご希望がありましたらご連絡ください) 以上					



第100回省エネ市民会議(脱山市生涯学習センター) 2015.11.6

## 快適に暮らせるエネルギー効率の良い住環境

栲原町総合庁舎 LCCO<sub>2</sub> 60% 公共建築賞・国土交通大臣賞  
 農産型共進化住宅 LCCO<sub>2</sub> 0% 2014.1東京ヒックサイトに展示→組閣視察に移築済



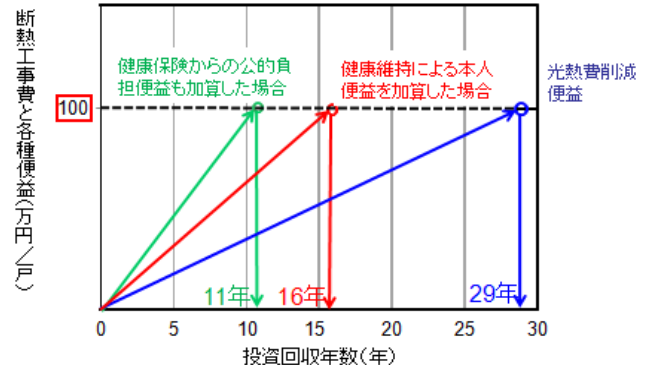
見えない価値の見える化

光熱費・CO<sub>2</sub>削減

健康性 知的生産性 震災時業務生活継続性

無経費削減に関する政府間パネル(IPCC)WG3第5次報告書(2014.4)第9章  
 慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科教授  
 伊香賀俊治

## 高断熱住宅の省エネ+健康便益



光熱費削減だけでは29年、健康維持の本人便益を加算すれば16年、健康保険からの公的負担も加算すれば11年で断熱工事費100万円/戸を回収できる  
 伊香賀俊治, 江口聖佳, 村上麗三, 岩前真, 豊田二ほか: 健康維持がもたらす間接的便益(NEB)を考慮した住宅断熱の投資評価, 日本建築学会環境系論文集, Vol.76, No.666, 2011.8